

CeMI 気象防災支援・研究センター

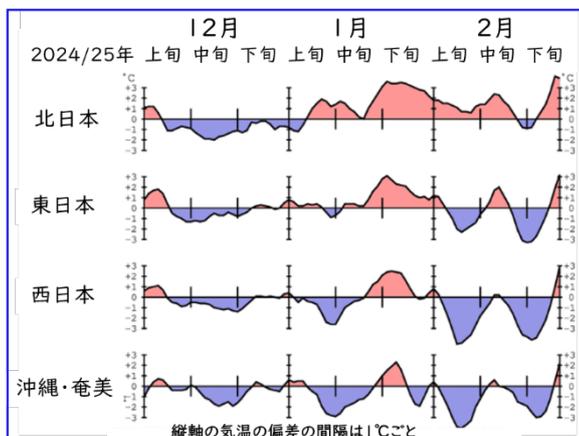
News Letter

Contents

1. 今年の冬をふり返る
2. 指定河川洪水予報の予報文(PDF形式)様式が変更されました

1 今年の冬をふり返る

昨年秋に発表された今年の冬〔2024年/2025年〕は、気温については平年並、降雪量は平年並か平年より多いとの予報でした。下図は2024年の12月から今年2月までの各地域の平均気温の平年偏差の5日移動平均を示したものです。



2024年の12月から今年2月までの各地域の平均気温の平年偏差
(出典:気象庁)

これを見ると、1月の中旬あたりまでは全国的に平年並か平年よりやや低めに経過していましたが、1月の下旬に入って全国的に寒さが和らぎ、特に北日本では高温が顕著になりました。今年の冬はこのまま強い寒気の南下もなく、次第に春に向かうといった声も聞かれましたが、この頃、

北極付近からシベリア方面では強い寒気が蓄積されつつありました。2月に入ると、上空の大気の流れが大きく変わって、この寒気が日本付近に南下して来ました。東日本以西の地域で寒さが厳しくなるとともに、日本海側の地方では降雪量が一気に多くなりました。この強い寒気は5日ほど日本付近に留まったあと東の海上に抜けたため、2月の中旬にはいったん寒さが緩みましたが、下旬に入って再び強い寒気が南下し、やはり東日本以西で厳しい寒さとなりました。多雪地として知られる青森県の酸ヶ湯では積雪が5メートルを超えました。

今年の冬は、気温でみるとちょうど本州の真ん中あたりを境に、関東地方から北では平年より暖かく、東海、北陸地方以西、特に西日本と沖縄・奄美地方で平年より低くなりました。また、降雪量も北陸から中国地方の日本海側にかけて多くなりました。

前年の冬〔2023年/2024年〕は1月2月に強い寒気の南下がありませんでした。冬を通して全国的にかなりの高温となり、また降雪量も少なく、特に北日本の日本海側ではかなり少なく『暖冬少雪』でした。このため、今年の冬が例年以上に寒かったとの印象がありますが、2月の2度にわたる寒気の南下による低温と大雪が特徴であったものの、『寒冬』と言われるほどの寒い冬ではありませんでした。





2 指定河川洪水予報の予報文(PDF形式)様式が変更されました

「指定河川洪水予報」は、洪水により重大な災害が発生するおそれのある河川に対し、国土交通省または都道府県と気象庁とが共同発表する情報です。そのPDF形式の予報文の様式が、3月下旬に大幅にリニューアルされました。

新しい様式はカラフルになり、デザインもすっきりしています。まず変わったのが標題の部分(下図①)。「この予報がどの警戒レベルに相当するのか」は、以前は見出しの部分に記載されていましたが、冒頭の標題に明示されるようになりました。

目を引くのは、新たに追加された『警戒レベル相当情報早見表』でしょうか(下図②)。今の水位(現況水位)と予測される水位が、どの警戒レベルに相当するのか、色で識別できます。また、基準水位観測所の受け持ち区間内で氾濫が発生した場合に氾濫水が到達する可能性がある市区町村については、基準水位観測所ごとに、どの警戒レベルに相当するのかが記載され着色されます。市区町村で防災を担当されるみなさんにとっては、使用頻度の高い表になるのではないかと思います。

見た目が大きく変わったのは『水位』の部分です(下図③)。以前は棒グラフで示されていたものが、カラフルな折れ線グラフになり、水位上昇の度合い等がイメージしやすくなりました。また、氾濫発生情報(警戒レベル5相当)については、氾濫箇所が記載されるようになり、氾濫による浸水が想定される地区も市町村名が箇条書きになり見やすくなります(下図④)。そのほか、参考情報の部分も整理され(下図⑤)、雨量や水位等のPULL型情報のQRコードが追加される等(下図⑥) 使い勝手もよくなりました。

重要な情報が凝縮されている指定河川洪水予報。このように以前より分かりやすくなりましたので、これまで以上にぜひご活用ください。

正規

〇〇川 〇〇市

① (警戒レベル4相当情報)

〇〇川洪水予報第〇号
令和〇〇年〇月〇日〇時〇〇分
〇〇河川事務所・〇〇地方気象台 共同発表

(見出し)
〇〇川では、氾濫危険水位に到達し、氾濫のおそれあり

(主文)
【警戒レベル4相当】これは、避難指示の発令の目安です。〇〇川の〇〇水位観測所(〇〇市)では、**「氾濫危険水位」**に到達しました。〇〇川では堤防決壊等による氾濫のおそれがあり、〇〇市、△△市では浸水のおそれがあります。直ちに、市町村からの避難情報を確認するとともに、各自安全確保を図るなど、適切な避難行動をとってください。

【警戒レベル3相当】これは、高齢者等避難の発令の目安です。〇〇川の△△水位観測所(△△市)では、**「避難判断水位」**付近の水位が続見込みです。引き続き、市町村からの避難情報に十分注意するとともに、適切な避難行動をとってください。

② (警戒レベル相当情報早見表)

		〇〇川氾濫危険情報 (警戒レベル4相当情報)	
新着・更新	更新	〇〇市	△△市
	基準水位観測所名	〇〇	〇〇市
対象河川	〇〇川	〇〇市	△△市
警戒レベル()相当	4	4	3
現況水位	4 (レベル4水位超過)	4	3 (レベル3水位超過)
予測水位		4	3
更新	〇〇市	4	-
更新	△△市	4	3
更新	〇〇町	-	3

市区町村ごとの警戒レベル相当の数は、同一洪水予報区間内の基準水位観測所の受け持ち区間ごとの警戒レベル相当情報に基づいて、それぞれの氾濫による浸水が想定される地区が含まれる市区町村に対して一律に表示しているものです。警戒レベル相当早見表の見方について(防災用語ウェブサイト・早見表)
<https://www.river.go.jp/kawabou/glossary/jp/term%kyoshijamihyo>

5	警戒レベル5相当
4	警戒レベル4相当
3	警戒レベル3相当
2	警戒レベル2相当
未	警戒レベル2未満

(雨量)
多いところでは1時間に〇〇ミリの雨が降っています。
この雨は当分の状態が続くでしょう。

流域	00日00時00分～00日00時00分 までの流域平均雨量	00日00時00分～00日00時00分 までの流域平均雨量の見込み
〇〇川流域	〇〇ミリ	〇〇ミリ

③ (水位または流量)

基準観測所	水位 (m)	00日					
		00:00現在	01:00予測	02:00予測	03:00予測	04:00予測	05:00予測
〇〇 (〇〇市)	警戒レベル4相当						
	氾濫危険水位 X.XX m						
	避難判断水位 X.XX m						
	位置注記 X.XX m						
	ゼロ点高 EL=X.XX m						

基準観測所	水位 (m)	00日					
		00:00現在	01:00予測	02:00予測	03:00予測	04:00予測	05:00予測
△△ (△△市)	警戒レベル3相当						
	氾濫危険水位 X.XX m						
	避難判断水位 X.XX m						
	位置注記 X.XX m						
	ゼロ点高 EL=X.XX m						

・ゼロ点高に関する解説 https://www.river.go.jp/kawabou/glossary/kwb_apend/html/reference.html

④ (氾濫による浸水が想定される地区)

氾濫箇所	氾濫による浸水が想定される地区※
〇〇市〇〇地区(右岸)	<ul style="list-style-type: none"> ●〇〇県 ●〇〇市 (〇〇地区、〇〇〇地区、□□地区、□□□□地区) ●△△市 (△△地区、△△△地区、◇◇地区、◇◇◇◇地区)

※氾濫による浸水が想定される地区については、一定の条件下に基づく計算結果での推定です。気象条件や堤防の決壊の状況によっては、この地区以外でも氾濫による浸水がおこる可能性があります。

⑤ (参考)
(受け持ち区間)

基準観測所	〇〇 水位観測所	△△ 水位観測所
	〇〇市 〇〇川	△△市 〇〇川
受け持ち区間	左岸	〇〇市〇〇地区から 〇〇地区まで
	右岸	〇〇市〇〇地区から 〇〇地区まで
	左岸	△△市△△地区から △△地区まで
	左岸	△△市△△地区から △△地区まで

□雨の情報を知りたい方はこちら
今後の雨 (解析雨量、降水短時間予報) <https://XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX>

□洪水予報文、川の水位を確認したい方はこちら
川の防災情報 洪水予報画面 <https://XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX>

□河川の氾濫危険度を知りたい方はこちら
水害リスクライン <https://XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX>

□氾濫の影響が想定される区域を知りたい方はこちら
浸水ナビ <https://XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX>

⑥

イメージ	イメージ	イメージ	イメージ
今後の雨 (解析雨量、降水短時間予報)	川の防災情報 洪水予報画面	水害リスクライン	浸水ナビ



洪水予報文(PDF形式)の新しい様式 (出典:気象庁 配信資料に関する技術情報第635号)

掲載内容へのご意見、そのほかサービスに関するご相談・ご要望等ございましたらお気軽にご連絡ください。



NPO法人 環境防災総合政策研究機構(CeMI)
気象防災支援・研究センター

〒160-0011 東京都新宿区若葉1-22口一ヤル若葉105号
<http://www.npo-cemi.com/center.html>

☎ 03-3359-7971

☎ 03-3359-7987

✉ advisory@npo-cemi.com

